

# *ABENO Bio-Med Innovation Center*



阿倍野キャンパスを中心とした  
バイオ&メディカル特区の提案

～医学部創立 80 周年を記念して～

# ABENO Bio-Med Innovation Center



## 集積

AGGLOMERATION

ヒト・モノ・チエ・カネを集め  
膨大なヒトサンプル／ヒトデータを活用し  
卓越した医学研究と社会還元を実現

## 創造

BENEFITS

医学・医療の発展だけでなく  
産業的価値・経済的交流・人材育成など  
様々な側面での価値創造を目指す



## 様々な分野の事業組織の協業と新たな社会的価値の創造

阿倍野キャンパス(医学、看護学、附属病院)  
あべのハルカス(先端予防医療拠点)  
住吉新施設(長寿・高齢者医療・研究拠点)  
阿倍野・天王寺周辺(医療系企業を誘致)  
関西国際空港(海外との連携)

新たな予防・診断・治療法の開発  
新たな医療サービスの創出  
ファージ療法、ヒトマイクロビオーム研究  
医療ビッグデータ、AI・デジタルメディシン  
ロボット支援医療、ゲノム医療

# 阿倍野を医学研究と医療サービスの 価値創造の国際的拠点に

## 多様化 DIVERSITY

研究者の受入体制や研究基盤設備を整備し  
様々な研究者や企業がチエの共有循環を行うことで  
研究や事業の多様化を実現



## 国際頭脳循環 GLOBALISM / BRAIN STORMING

共同研究・人材交流／育成・医療産業など  
様々な分野・観点から国際頭脳循環を推進  
中核に国際次世代医療研究開発センターを設立



### ダイバーシティの実現と国際頭脳循環の実現

教員ポスト拡大、女性医師・研究者の支援  
女性限定の教授公募、教員枠、新規講座  
フレックスワーク、リモートワーク  
外国人教員の採用  
海外研究者・留学生の受け入れ

世界トップレベルの海外大学との共同研究  
海外の優れた企業との共同研究とその誘致  
インバウンド向けの医療サービスの展開  
グローバルサウスからの医学研修生受入れ  
国際次世代医療研究開発拠点の設立

# 集積

## AGGLOMERATION



### 阿倍野周辺



- 附属病院は大阪市内唯一の大学病院、かつ特定機能病院として安全で質の高い高度先進医療を提供。
- 阿倍野キャンパス内やあべのハルカス、近隣のビルと提携し、医療関連企業や研究機関が入居できるスペースを確保。
- 物理的に近いところで活動することで、医学研究科の医師・研究者や附属病院職員らと密に連携し共同研究や臨床研究を実施。
- 高度な研究施設・設備等とそれらの利活用ノウハウを共有しつつ、多分野のチエフを結集し、これまでにないブレイクスルーを実現。
- 医学研究の質を高めることで、新たな診断法や治療法、医薬品、医療機器、医療サービス等の早期開発を行う。

画像 (C)2023 Google.  
DataSIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO,  
LandSat/Copernicus, Data  
LDEO-Columbia, NSF, NOAA,  
地図データ (C)2023 TMap Mobility

# 創造

BENEFITS

様々な組織が機能的に連携し、集学的な頭脳循環を行うことで、新たな価値を創造するとともに、従来から行っている事業についても、より付加価値の高い形へと進化させていく。

## がん診療

がん診断（内視鏡、PET）  
がん手術（低侵襲手術）  
化学療法（免疫療法、MTA）  
放射線療法（次世代型装置）  
新薬治験



西日本で初めて導入された  
MRリニアックと放射線腫瘍学の  
澁谷景子教授

## 高齢者医療

老化研究  
ロコモ・フレイル  
認知症予防・診断・治療  
介護ケアの実践

## 国際交流

ジョイントキャンパス  
共同研究（大学・企業）  
医療研修生・研究者の受入れ

## スタンフォード大学が認めた 世界のトップ 2% の科学者

（スタンフォード大／エルゼビア社：2022 年単年版）

八代正和（癌分子病態制御学）  
大谷直子（病態生理学）  
橋本隆（皮膚病態学）  
徳永文稔（医化学）  
植松智（ゲノム免疫学）  
河田則文（肝胆脾病態内科学）  
藤原靖弘（消化器内科学）  
石沢武彰（肝胆脾外科学）  
中村博亮（整形外科学）  
新谷歩（医療統計学）  
渡部龍（膠原病内科学）  
鶴田大輔（皮膚病態学）  
久保 正二（消化器外科学）

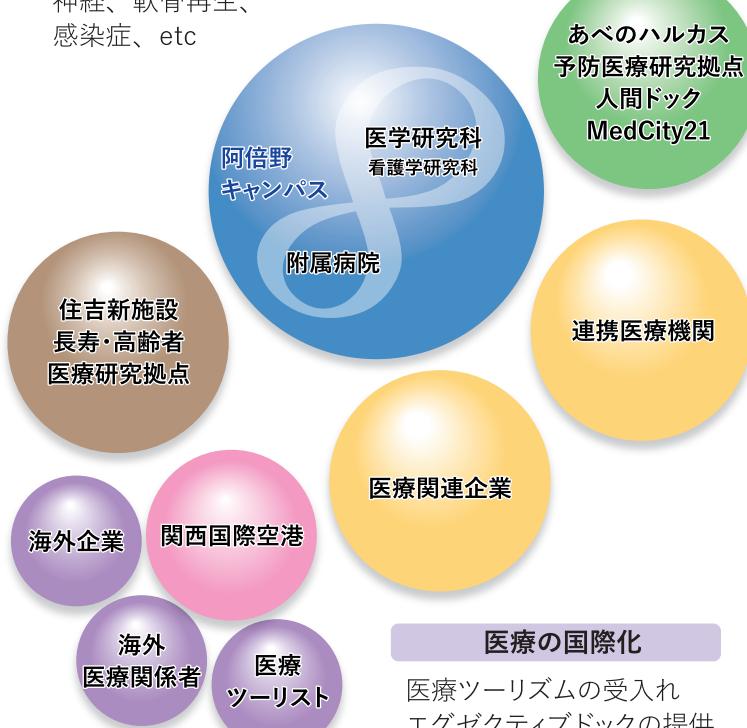
## 医師間の相互評価で選ばれた Best Doctors in Japan

（ベストドクターズ社：2022 年度以降の対象教授）

中村博亮（整形外科）  
柴田利彦（心臓血管外科）  
日野雅之（血液内科）  
鶴田大輔（皮膚科）  
本田茂（眼科）  
柏木伸一郎（乳腺外科）

## 研究開発

がん、腸内細菌、臓器線維症、  
神経、軟骨再生、  
感染症、etc



## 医療の国際化

医療ツーリズムの受入れ  
エグゼクティブドックの提供



### 八代正和研究教授(癌分子病態制御学)

難治性癌の分子標的治療開発を目指したトランスレーショナルリサーチ（基礎データから臨床応用へ）を推進。

### 新谷歩教授(医療統計学)

REDCapシステムを日本へ普及。多くの臨床研究の統計データ解析で幅広く活躍。医療統計に関する書籍も好評。



### 石沢武彰教授(肝胆脾外科学)

肝機能検査薬ICGを静脈注射することで「胆管」を光らせる技術を開発し、2008年に世界で初めて腹腔鏡下手術に臨床応用。2023年にICGを胆道造影に用いることが保険承認。肝がんの描出にも活用（写真はロボット支援手術）。



## 予防医療・未来医療

人間ドック  
予防医療の推進  
バイオリポジトリの構築  
(ヒトサンプル／データ)  
医療ビッグデータ  
スマートヘルスケア

## 医療連携

慢性期診療  
緩和医療  
在宅医療

## 共同研究（産学連携）

医療機器開発  
創薬  
診断支援技術  
バイオインフォマティクス  
医療サービス



## 2022 年から 3 年連続ランクイン World's Best Specialized Hospitals

（Newsweek 社／Statista 社）

世界20カ国以上の医療関係者を対象として毎年実施されている病院ランキングであり、大阪公立大学は12の診療分野のうちOrthopedics部門（整形外科）、およびOncology部門（放射線治療科）が、2022年から3年連続でランクインしています。

	2022年	2023年	2024年
整形外科	88位	81位	75位
放射線治療科	208位	204位	211位

さらに、整形外科部門はアジア太平洋地域において13位にランクされています。

# 多様化

DIVERSITY

多様な人材の活躍や交流を通して、ものの見方や考え方、解決策の見出し方などがフレッシュでバラエティに富むものとなり、課題解決力や事業環境の変化への適応力が高くなる。

## 教員ポスト 拡大

多様化・専門化する医療の未来を支える人材を育てるには、特色ある講座の新規創設と専任教員の補充が必要。  
外国人教員の採用を推進。

## 女性登用 就労支援

あらゆる立場の女性の活躍とワークライフバランスの改善のため、女性限定の教授公募や研究者枠の設置、就労支援・家庭支援を展開する。

## 多様な 働き方

就労時間、就労場所、責任範囲、対象業務など、働き方の概念を見直して、個々人の家庭環境や価値観に沿った働き方ができるようにする。

### 企業の人材(产学連携)

- ◆企業の視点や意識の導入
- ◆異分野の常識を知る
- ◆产学連携プロジェクト化

オープンに使える  
カフェスペースがあるといいね



優秀な女性医師や  
研究者が、もっと働きやすい環境を！

### 学内の人材(新規登用)

- ◆ITやAI、核・放射線など様々な専門知識を持つ人材とのコラボレーション
- ◆部門間人材交流を増やし、優れた研究手法等の拡散を促進
- ◆類似業務の統廃合と分担の見直しによる全体最適化

### 海外の人材(国際交流)

- ◆国際頭脳循環の促進
- ◆国際的人材の育成
- ◆留学生の研修受け入れ
- ◆国際共同研究の展開

ポストが増えれば  
仲間が増える  
新しい風が吹くね

臨床業務が分担できれば、  
研究や指導に時間が回せるね

## 女性の活躍と働きやすい職場づくりのための取り組み

**働く場所の確保** 女性限定教授(教員)ポスト、研究医ポスト、大学院プラン

**仕事探しの支援** 復職支援、復職支援講座、復職インターン、就職エージェント、女性専用住居

**働く女性の支援** 業務調整、時短制度、テレワーク制度、保育(病児保育)施設、ヘルパー(家事・育児・介護)

**女性研究者支援** 研究指導、ゲノムクリニシャン養成、研究支援員制度、女性研究者支援基金制度、理系女子支援

**心と悩みのケア** カウンセリング、メンター制度、ネットコミュニティ、オンライン診療プログラム、サークル活動

# 国際頭脳循環

BRAIN STORMING / GLOBALISM



天王寺から約40分で空の玄関 関西国際空港に到着。

海外の研究者や企業との交流を深め、世界の牽引役としての役割を果たす。

## 国際次世代医療研究開発拠点の設立

### 国際ファージ次世代医療研究開発拠点（代表：植松智）

これまで推進してきた微生物ゲノム解析技術を基盤として、2050年問題として注目されている薬剤耐性菌制御や、様々な疾患の原因となる腸内細菌制御のためにファージ次世代医療の実現を目指す。



### 国際ヒトマイクロビオーム研究開発拠点（代表：大谷直子）

ヒトマイクロビオームによる病態修飾、特に、metabolic syndromeやがんにおける免疫制御との関連に関する研究を推進。

2022年度本学女性研究者表彰(岡村賞)特別賞受賞。



### 大学横断的ヘルスケアコンテンツ開発拠点(代表:樋口真人)

医学部附属病院や大学院医学研究科が有する医療ビッグデータを基盤に、他学部、関連企業との融合研究を推進し、診断AI、医療XR(VR, AR, MR, SR)、アプリなど様々なヘルスケアコンテンツをアンダーワンループ体制で開発する。



### ダイバーシティ支援拠点（代表：角南貴司子）

女性医師・研究者の就労支援やワークライフバランスの支援のために、24時間病児保育室や多様な働き方などの環境整備を展開しつつ、ダイバーシティ支援のための阿倍野女性医師育成特区構想の実現に向けて取り組む。



国際次世代医療研究開発拠点は、次世代に向けた新しい疾患予防法、診断法、治療法の開発と、次世代の医師・研究者が多様な個性と能力を発揮しつつ、優れた医療人として成長するためのプラットフォームとして構築する研究開発拠点。

医学研究科・医学部が有する

- ・研究成果
- ・最先端医療技術
- ・医療ビッグデータ

等を活用し、ダイバーシティ戦略のもと、医学研究と医療実践を強力に支援。

## グローバルサウスからの 医学研修受け入れ



## 世界に出歩く

### 海外拠点での研究(代表:城戸康年)

アフリカのコンゴ民主共和国に研究拠点を置き、新興・再興感染症研究での第一人者として活躍。



国際性を磨くための海外研修や海外留学、国際共同研究を積極的に支援する。

海外の研究者や企業との人脈づくりのために、国際学会への参加を支援したり、訪日留学生と学ぶ機会を用意する。

## 「日本の医療を学びたい」を叶える

日本政府の推進する「アジア健康構想(AHWIN)」と「アフリカ健康構想(AfHWIN)」によって、日本の医療技術の学びに期待が高まっている。

大阪公立大学では医学部附属病院外国人医療研修センターの設立を進め、さらなる国際交流を推進。

大都市大阪の優位性を確立し、国内屈指の医学研究科・附属病院になることを目指す。

## 医療ツーリズムの受け入れ

日本の医療水準の高さに着目し、治療や検診を主目的として渡航してくる外国人が多い。

人間ドック施設のMedCity21を旗頭として、がんなどの高度医療の他、文化研修など総合大学の利点も活かした特色ある企画で、国際医療拠点としてのブランド力を高める。

# 行動宣言 8090

90周年に向けて国内屈指の医学研究と医療サービスの拠点になるために

## 医学研究・臨床拠点としてさらなる成長を

- ① 全国トップレベルの医学部であることを自覚し、「独自性」を出す
- ② 基礎研究分野での優れた研究を「強み」としつつ、臨床研究分野での成果の創出を促す
- ③ アカデミックホスピタル・サイエンスホスピタルとしての発展
- ④ 外国人教員の採用、医療研修や医療ツーリズムの受け入れ拡大による国際的なブランドバリューの育成
- ⑤ ダイバーシティを考慮し、女性が働きやすい環境を創造
- ⑥ 特許を取得し、投資を募り、大学発ベンチャーを起業、ビジネスにすることを念頭に置く

## 構想実現のためのご支援のお願い

ALL OSAKA で構想を実現しよう

### 国・府市へのお願い

- ① 事業資金支援、特区制定など、構想実現・運営へのご協力
- ② 阿倍野・天王寺界隈の保有施設のご提供
- ③ 女性医師・研究者就業支援、外国人受け入れの周知・啓発
- ④ 産学連携、産学官連携プロジェクトへの補助金交付

### 企業の方々へのお願い

- ① 医療分野、創薬、ICT、映像、超精密加工、新素材など、医療の発展を牽引する研究開発型企業のご参加をお待ちしています
- ② 働く女性支援、介護支援、家事代行など、ワークライフバランスの改善に関わるサービス系企業のご参加をお待ちしています

### 地域の不動産オーナー様へのお願い

- ① 阿倍野・天王寺界隈の不動産（テナント等）の紹介
- ② バイオ・医療関連企業、研究機関への賃貸優遇措置の実施
- ③ 女性医師・研究者、外国人研修生向けの居住用物件の紹介

### 地域の医師の方々へのお願い

- ① 各診療分野の地域医療ネットワークへのご参加
- ② 患者さんのご紹介
- ③ 慢性期の患者さんの転院の受け入れ
- ④ 緩和医療、在宅医療の受け入れ

... memo ...

本件に関するお問い合わせ、ご相談は…

大阪公立大学 医学部・附属病院事務局 庶務課

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7

TEL 06-6645-2711~12 FAX 06-6632-7114